



Essex Furukawa Magnet Wire LLC

持続可能性レポート

2023年8月



ビジョン2030: 持続可能な未来、当社の原動力

CEO から の手紙



「当社では、基準に従うだけでなく、設定したいと考えています」

Essex Furukawa Magnet Wire は、業界の世界的リーダーの一社として、比類のない地位を築いています。そのステータスには多くの期待が伴いますが、その中には世界市場で責任ある企業市民となることが含まれます。

ビジョン2030の指導原則を通じて、当社は、当社のビジネスの強さと地球の健康の両方に有益なソリューションを見つけることを目標に、それぞれの意思決定、パートナーシップ、投資を行うよう努めています。

当社はお客様と提携して、従来のマグネットワイヤ市場を進化させる破壊的イノベーションのソリューションを提供することで業界をリードしています。アジャイル デジタル化の取り組みにより、製造技術が向上するとともに、3大陸の拠点でベストプラクティスを拡張しています。当社の先駆的なグリーン生産の方式は、環境への影響を軽減するために開発され、当社の施設に導入されています。

2022年、Essex Furukawa は、絶え間なく変化する持続可能性の状況における数多くのイニシアチブに集中しました。当社は、疑う余地のないリーダーになるためには、いかに機敏である必要があるかを学びました。当社の社会的責任だけでなく、当社の人材や製品が周囲のコミュニティにどのような影響を与えることができるかにも重点を置きました。また、この過程でサプライチェーンが果たす役割に関して実用的なインサイトを得る取り組みも導入しました。最も重要なことは、二酸化炭素排出量の削減において大幅な進歩を遂げたことです。

当社の2回目の年次持続可能性レポートは、2022年の間に行った累積的な取り組みの概要を反映しています。これは、当社の勢いを示すとともに透明性を受け入れていることも示しています。続くページでは、当社の総合的な持続可能性への取り組みと、当社の中核的価値観がどのように前向きな変化を生み出し、将来の基礎を築くのに役立っているかについて説明します。

当社が、ビジョン2030の長期的かつ先進的なアプローチを適用し続けることで、Essex Furukawa Magnet Wire のすべてのステークホルダーにさらなる成功がもたらされることを信じています。

Daniel Choi
最高経営責任者
Superior Essex Inc.
Essex Furukawa Magnet Wire LLC

目次

2	CEO からの手紙
4	会社概要
5	主なハイライト
6	ビジョン 2030 概要
7	グリーン生産
8	廃棄物埋め立てゼロ
8	エネルギー削減
8	再生可能エネルギー
8	炭素削減
9	破壊的イノベーション
10	アジャイル デジタル化
11	包括的な持続可能性
12	説明責任、報告、ガバナンス
16	廃棄物埋め立てゼロ
18	炭素削減目標
19	国連 SDGS パートナーシップ
20	サプライチェーンの透明性
21	責任ある調達
23	循環型経済
24	持続可能性リーダーシップ委員会
25	さらに未来へ向けて
26	付録
26	リソース
27	パフォーマンス データ表

会社概要

マグネット ワイヤ/巻線製造の世界的大手 Essex Furukawa は、常にイノベーションとエンジニアリングの限界を押し広げています。こうした取り組みを世界中で主導することで、サービス提供先の顧客の持続的な成功を促進しています。120 年以上にわたって自動車、商業、住宅、産業、エネルギーの専門知識を積み上げてきた当社では、各市場担当チーム間で生み出されるメンバー相互の利益を実現した製品とサービスが、必然的に各チームの繁栄、ひいては顧客の繁栄につながっています。最新の電気自動車、電力変圧器、業務用発電機をはじめとして、未来の原動力となるマグネット ワイヤ/巻線を製造しています。

北米、欧州、アジアをカバーする Essex Furukawa による銅製/アルミニウム製マグネット ワイヤは、エナメル加工、巻き付け、押し出し成形と広範囲にわたり、ゲージ サイズにもメートル サイズにも対応します。垂直統合されているマグネット ワイヤ メーカーは当社だけです。製品の設計、開発、調達、製造、配送、そして安定供給が、3つの大陸でシームレスにつながっています。

Essex Furukawa は、マグネット ワイヤ/巻線製品のイノベーションと製造における世界的リーダーです。



主なハイ ライト



23%
CO₂ 削減

1年間で260万本の本の木で減少できるより多い体積です。¹



10%
再生可能エネルギー利用率

1年間51,000世帯を超える家庭に同時に電力を供給するのに十分な量。²



9
これまでにZWTLを達成した工場数³



25,374 トン
リサイクルされた重量



11,297
LEDに交換した電球の数



4,576
短縮されたスタッフの勤務時間数
サプライチェーン追跡テクノロジーの導入による



17
サービス提供先のコミュニティの数
社会的持続可能性イニシアチブによる



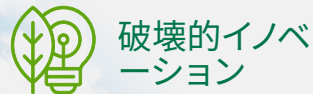
80%
調査対象となったサプライチェーン全体の割合
上流に向けたESGの影響のために

持続可能な未来、 当社の原動力

ビジョン 2030



水、廃棄物、二酸化炭素排出量をグローバルに削減することで、持続可能性への取り組みを主導する



顧客とのパートナーシップ、顧客に対するサポートにより、市場を変革する製品とサービスを開発する



完全に統合され、持続的に自動化され、社会的責任を果たすことで、デジタルに精通した組織になる

Essex Furukawa が、*ビジョン 2030: 持続可能な未来、当社の原動力を最初に発表したのは 2021 年 4 月*でした。これは、持続可能な未来を創造するという共通の目標によって当社が行うそれぞれの決定、パートナーシップ、投資を推進することを宣言することで、当社のビジネスの将来を形作りました。最終的に目指しているのは、現世代のニーズをサポートしながら、将来世代のニーズを生かしていくことです。Essex Furukawa のコアバリュー、グリーン生産と破壊的イノベーションとアジャイル デジタル化は、このビジョンの達成に向けて努力するための柱です。

Essex Furukawa のグリーン生産とは、すべての基本理念を貫く共通項です。この点に注力することは、当社の生産にプラスの影響を与え、サプライチェーンにも影響を与えます。また、当社と二酸化炭素削減目標を支持するお客様との連携も図れます。

破壊的イノベーションの目標はマグネット ワイヤ/巻線業界を変革することであり、そのためには、サプライチェーンを通じて、技術的進歩をサポートし推進する製品、機器、製造方法を導入します。当社は、材料、製品、設備に対する顧客の需要をサポートするために、1 世紀前のテクノロジーを破壊する新しい方法を開発します。また、製品のパフォーマンス向上を支援するためにリソースを展開し、それによってサプライチェーンの上流でも下流でも持続可能性への取り組みをサポートします。

当社のアジャイル デジタル化の目標とは、当社の従業員、顧客、サプライヤー、パートナーとのビジネス上のコラボレーションがシームレスになるテクノロジー環境により、世界クラスでデジタルに精通した企業になることです。当社が *ビジョン 2030* に向けて前進する中、社内チームが注力するのは、データを情報に変換することと、製造部門の従業員にインサイトを提供して優れた意思決定ができるようになります。



グリーン 生産

グリーン生産のビジョン2030の使命は、マグネットワイヤ/巻線業界内で持続可能なソリューションを生み出すリーダーとしてグローバルに認められることです。当社は、顧客とその継続的な持続可能性への取り組みをサポートするために、現在だけでなく将来のニーズにも応えられることを望んでいます。

グリーン生産では、次の4つのつながりに沿って、**ビジョン2030の目標を達成します。**

- > 世界中のすべての施設での「廃棄物埋め立てゼロ」ステータスの達成と保持
- > 再生可能エネルギー活用の確立と取り組み
- > エネルギー削減目標の設定と取り組み
- > 炭素削減目標の設定と取り組み

イニシアチブ	3年目標 (2023)	7年目標 (2027)	10年目標 (2030)
廃棄物埋め立てゼロ (ZWTL) ¹	世界中のすべての工場で ZWTL ステータスを達成する	ZWTL オペレーションをグローバルに監視して維持する	ZWTL オペレーションをグローバルに監視して維持する
再生可能エネルギー ¹	再生可能エネルギー利用率 17%	再生可能エネルギー利用率 27%	再生可能エネルギー利用率 32%
エネルギー削減 ¹	エネルギー削減率 3%	エネルギー削減率 6%	エネルギー削減率 10%
炭素削減 ²	該当なし	該当なし	炭素削減率 20% ³

¹ 2019 ベースラインを使用 / ² 2021 ベースラインを使用 / ³ 炭素目標達成率は SBTi 検証待ち
ZWTL : Zero Waste To Landfill



廃棄物埋め立てゼロ

持続可能な未来への道を歩み続けることは、Essex Furukawa の活動の中心であり続けています。グリーン生産を洗練されたものにするための取り組みには、当社のマグネットワイヤ工場、金属加工施設、化学処理場すべてにわたって廃棄物埋め立てゼロ（ZWTL）を達成することが含まれます。工場で ZWTL ステータスを達成するには、施設から出るすべての廃棄物の少なくとも 98% が、埋立地からも、廃棄物の流れを受け止める下流の材料管理組織からも、転換されなければなりません。

進捗状況

- > ZWTL ステータスを達成した工場 9 か所



エネルギー削減

エネルギー削減イニシアチブには、今後のマイルストーンとしている 2023 年、2027 年、2030 年での Essex Furukawa 工場のスコープ 1/スコープ 2 エネルギー源（つまり燃料と電力）のすべての削減予想が含まれます。すべてのエネルギー削減計算結果は、工場で生産に対するエネルギー効率が向上したかを示すため、生産に対してベンチマークされました。

進捗状況

- > 2022 年にエネルギー削減率 0.3% を達成²



再生可能エネルギー

Essex Furukawa で定義する再生可能エネルギーは、再生がしやすい天然資源やプロセスに由来するクリーン エネルギーです。調査対象の再生可能エネルギーには、太陽光、水力、風力などがあります。エネルギー削減目標とは異なり、再生可能エネルギーの進捗状況は総エネルギー消費量に基づいています。当社は、再生可能エネルギー プロジェクトを世界中の各サイトで実施する可能性を継続的に調査研究することで、スコープ 2 のカーボン インパクトを低減するのに加え、可能であればグリーン エネルギー生産を実現しています。

進捗状況

- > 2022 年の再生可能エネルギー利用率 10%²



炭素削減

スコープ 1/スコープ 2 の炭素削減目標を設定する際に、Essex Furukawa は、当社のグローバル フットプリント全体で温室効果ガス排出量を削減するという意図を明確に表明しました。当社では、組織として、また顧客の炭素削減目標をサポートするため、そうした削減への道筋を定義しました。Essex Furukawa では SBT (Science Based Targets) を温室効果ガス プロトコルに従って設定しており、2030 年までにスコープ 1/スコープ 2 の排出量を 20% 削減するという目標の達成を目指しています。こうした削減目標と進捗状況を伝えることで、Essex Furukawa は、さらなるアクションを引き起こすことができます — バリューチェーンの上流でも下流でも — カーボン インパクトを地球全体で低減するために。

進捗状況

- > 2022 年にスコープ 1/スコープ 2 の排出量で削減率 23% を達成³



1 内部監査、第三者機関により未検証の数値 / 2 2019 ベースラインとの比較 / 3 2021 ベースラインとの比較



破壊的イノベーション

当社は、材料と製造方法での破壊的イノベーションを創出する能力に照らして成功を評価します。つまり、当社は 2030 年までに次の事柄にめどをつけます。

- > 有害な溶媒を使用しない新製品
- > プロセスのイノベーションと新生産方式の拡大
- > 日本にある当社のグローバル R&D イノベーションセンターで特別に開発された新製品と新生産方式に対する 50% の二酸化炭素排出量の削減

さらに、当社は 2050 年には、グローバル R&D イノベーションセンターで開発するすべての新製品と新生産方式が、カーボンニュートラルでありたいと考えています。

Essex Furukawa は、破壊的イノベーションを通じて、すべてにとって持続可能な未来をサポートすることに取り組んでいます。顧客とのコラボレーションで、エネルギー、商業、住宅、産業、自動車市場を新技術で支援することが、当社による低炭素経済のサポートに他なりません。

より具体的には、次に挙げるようなことへのサポートが可能になり、バリューチェーン全体の改善につながる、と考えています。

- > 電気自動車 (EV) の普及と運送業界全体での効率性のサポート
- > 再生可能エネルギー技術を実現することによる、エネルギー部門とユーティリティ部門の発展
- > 省エネルギー技術による建物の電化
- > 産業のライフサイクル全体で環境への影響を低減する複数の業界での取り組み





アジャイル デジタル化

当社は、現在そして未来にわたって、建物、通信、テクノロジーをデジタル化することは、すべてのインフラストラクチャの相互接続を実現する機会と捉えています。より持続可能な世界をサポートするために、当社は次の措置を講じています。



完全統合

完全統合は、デジタル エコシステム間の接続を実現し、相互運用可能なシステムへセキュリティをもって接続されているデータとサプライ チェーンをサポートして、グローバルな業界標準に合致させる



グリーン テクノロジー

グリーン IT (情報技術) に加えグリーン OT (運用技術) により、当社は、電子廃棄物の 100% リサイクルと電力効率の高い運用を可能にするプラットフォームと技術を開発する



持続可能な自動化

データ収集のプロセスを合理化し、持続可能性に関連するメトリックを生成することで、グリーン リサイクルを活用し、人間と機械との間での調和のとれた相互作用を可能にする



社会的影響

国連の持続可能な開発目標 (UN SDGs) への取り組みにより、サービスを提供するコミュニティに社会的価値をもたらす

当社は、リアルタイムにデータに基づいた意思決定を行うことで運用効率を高めるグローバルな取り組みの中で、トランスフォーメーションとなる運用分析を拡大しています。また、当社では、クラウドベースのテクノロジーを活用して二酸化炭素排出量を削減するために、いくつかのテクノロジーも導入しています。

Essex Furukawa では、高度な運用技術によるビジョン 2030 ミッションを次の 10 年で完了できるよう複数の成果を実現することに重点を置いています。

- > データ、情報、システムを安全に保つのに最適な組み合わせのサイバー セキュリティ機能を実装する
- > IT と OT のコンバージョンによる相乗効果を活用し、世界クラスの IT/OT 機能を当社のビジネスで実現する
- > 人工知能と機械学習を活用して、世界中のすべての施設にわたって生産システムの効率を向上させる
- > アジャイルな働き方を導入して顧客のニーズに最適なサービスを提供するためのテクノロジーと知識でローカル チームを強化する
- > 持続可能性に関する各のデータ収集を活用して、戦略的意思決定のための情報源とする
- > ブロックチェーンを利用して、サプライ チェーンの透明性とエンド ツー エンドの製品ライフ サイクル分析を探究する

包括的な持続可能性

当社のビジョン 2030 の目標を達成するため、Essex Furukawa では持続可能な未来を達成するための包括的アプローチの定義をさらに進めました。これらの 7 枚の花びらは、成功度を測定するだけでなく組織内の改善の機会を特定するための一助となる、具体的で測定可能なアクション アイテムを表しています。





説明責任、報告、ガバナンス

Essex Furukawa は一企業として持続可能性と環境保全に高い価値を置いています。複数の環境指令や規制に準拠することは、当社のコミットメントとなります。データ、目標、測定基準について一貫性をもってお知らせする取り組みにより、当社はステークホルダーとの透明性を社内外で確立することができます。当社は、影響低減の進行状況を追跡し、自社の持続可能性レポートを作成し、社会的責任への取り組みを促進するために、持続可能性リーダーシップ委員会を設立しました。

説明責任と報告

- > **Carbon Disclosure Project (CDP)** | Essex Furukawa は CDP — 企業の環境的な透明性に関するグローバル開示システム — を通じて顧客に対し進捗状況を報告します。
- > **EcoVadis** | Essex Furukawa は多くの顧客に対し、EcoVadis を通じて報告しています。EcoVadisは、企業の持続可能性のビジネスへの統合を評価するための持続可能性査定ツールです。EcoVadis：企業の社会的責任と持続可能な調達を評価するための評価プラットフォーム
- > **環境認証** | 世界中にある当社の工場の多くでは、環境認証を受けています。詳細については、付録を参照してください。

¹ Essex Furukawa Magnet Wire では、ステークホルダーとは、当社の事業に影響を与える、または影響を受ける可能性のある個人またはグループ、あるいは、当社のリーダーシップチームが下し実行する決定に利害関係を持っている個人またはグループであると考えています。世界的に展開する非公開企業として、ステークホルダーには政府や規制当局、役員、従業員、顧客、サプライヤー、拠点周辺のコミュニティが含まれます。

説明責任と報告—続き

- > **The Copper Mark Partnership** | The Copper Mark は、銅産業内で責任ある生産慣行を促進するための保証フレームワークです。Essex Furukawa の親会社 Superior Essex は、2021 年 5 月に The Copper Mark の 8 番目の企業パートナーとなりました。
- > **The Copper Mark Semis-Fabricator Pilot Certification** | Essex Furukawa は 2021 年にプログラムに参加、2022 年に現地評価を完了、2023 年には 2024 年に The Copper Mark 認証を取得するための改善計画を策定して、その実施を開始しました。
- > **国連の持続可能な開発目標との整合性** | 国連の SDGs プログラムは、持続可能な開発のための 2030 アジェンダの一部として 2015 年に開始し、17 の持続可能な開発目標が定められています。すべての国々は、貧困などの欠乏を終わらせるために、健康と教育を改善し、不平等を是正し、経済成長を促進すると同時に、気候変動問題に取り組み、海と森林を保護するという戦略で連携しなければならない、ということを確認しています。
- > **ビジョン 2030 の目標** | Essex Furukawa は、2023 年、2027 年、2030 年のマイルストーンとなる年に向けて再生可能エネルギーの使用量を増やしながら、廃棄物、エネルギー、二酸化炭素削減の目標達成に向けて取り組んでいます。
- > **顧客アンケート** | 当社は、2022 年に 53 件の顧客調査とアンケートを 39 の異なる顧客から完了しました。²
- > **年次報告** | Essex Furukawa は、2022 年 8 月に初の持続可能性年次報告書を発行しました。

ガバナンス

Essex Furukawa は、高品質製品の製造/提供と優れた顧客サービスで、インテグリティが最も高水準の企業としての評判を得ています。当社が誇りとするのは、何を達成しているかだけでなく、どのように成功を収めているかでもあります。この評判を守るため、当社は責任ある企業市民として振る舞いながら、顧客、従業員、すべてのステークホルダーの利益を最優先するための努力を続けています。このコミットメントには、何よりもまず、最高の倫理的/法的基準に従って行動することが求められます。

最高水準のインテグリティに対する当社のコミットメントは、Essex Furukawa のすべての従業員がコア バリュー（どのように行動するかを定義する価値観）を確実に理解することから始まります。こうした価値観は当社の倫理綱領の礎です。詳細とガイダンスについては、当社 **ビジネス行動規範** を参照してください。



Dollars for Doers

Essex Furukawa は、従業員の寛大なボランティア精神をサポートしています。これらの個人の情熱をサポートするために、私たちは、チームにとって重要な目的をさらに支援するために寄付された時間と同額の助成金を、対象となる 501(c)(3) 団体に提供します。

² 顧客から直接、または NGO 経由で次に報告してください。SupplyOn、CDP、EcoVadis、サプライヤー保証自己評価アンケート (SAQ)、Assent

ガバナンス—続き



サプライヤー行動規範

Essex Furukawa は、ESG 目標に取り組んでおり、それらの価値観を材料およびサプライヤーの決定の最前線に置いています。サプライヤー行動規範と調達戦略の更新で焦点を当てるのは、廃棄物による影響を全体的に低減し、製品のリサイクル/再利用能力を向上し、サプライヤーにも社会的責任を担っていただきながら、環境全体への影響を低減し二酸化炭素排出量を削減することです。



人権方針

Essex Furukawa とその子会社は、すべての行いでインテグリティをもって行動することを約束します。当社は、世界中の人権の発展を尊重し、保護し、支援する方法で事業を行うことに専念しています。当社は、責任あるインテグリティベースの事業を行うため、国連の世界人権宣言にある国際基準の原則（無差別、機会均等、結社の自由、団体交渉の自由、現代の奴隷制や人間の人身売買や有害でも搾取的でもある形態の児童労働の撤廃など）を支持しています。



紛争鉱物に関するポリシー

Essex Furukawa とその子会社は、コンゴ民主共和国 (DRC) での暴力の撲滅という人道的目標を支持し、サプライチェーン全体で紛争鉱物の責任ある調達に取り組んでいます。したがって、Essex Furukawa はこの紛争鉱物に関するポリシー（「ポリシー」）を採用しており、すべてのサプライヤーが同様のポリシーを採用し、本ポリシーに定められた期待に応えるよう望んでいます。このポリシーを支持する Essex Furukawa は、DRC コンフリクト フリーの紛争鉱物を含む製品のみを購入します。Essex Furukawa は、紛争鉱物の存在とその調達先について判断するため、製造し流通させる製品すべてに関してデューデリジェンスを実施しました。



環境方針

環境に配慮した方法で業務を遂行することは、Essex Furukawa の既定方針です。当社は、空気、水、土地などの天然資源を含む自然環境を維持し保護するため、当社の活動、製品、サービスの環境への影響を低減ことに取り組んでいます。

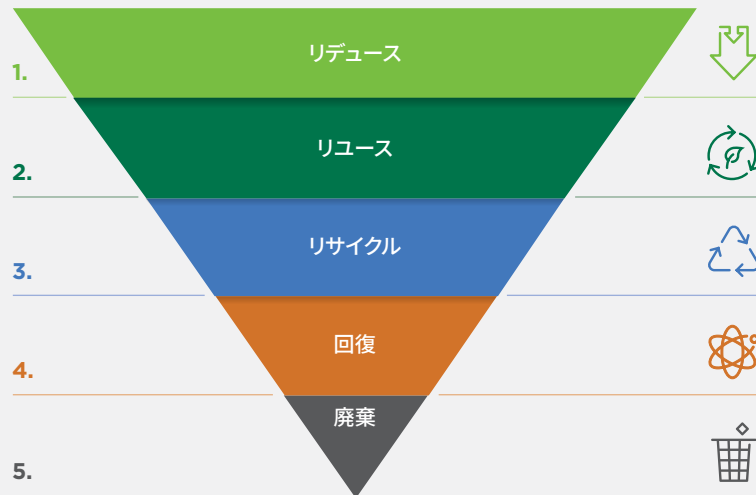
ガバナンス—続き



廃棄物削減の階層

Essex Furukawa は総合的な持続可能性に取り組んでおり、当社の製造プロセスが環境に与える可能性のある潜在的な影響を考慮する責任があることを理解しています。

すべての廃棄物の流れが責任を持って処理されることを保証するために、埋立廃棄物ゼロ監査が毎年各工場で実施されています。さらに、すべての廃棄物を削減するために、次の包括的な手順を遵守します。



汚染軽減の階層構造

Essex Furukawa は、製造プロセスからの汚染物質の潜在的な影響に対処し、生物多様性の損失を回避するために、次の優先プロトコルを確立しました。これは、有害廃棄物、無害廃棄物、不活性廃棄物の環境への悪影響を軽減するだけでなく、回避、最小化、修復、およびオフセットを通じて地域社会の健康に積極的に貢献することを目的として設計された枠組みです。

- > **回避** | 有害な化学物質や原材料を設計で使用しない、または代替物を使用することで、避ける潜在的な悪影響を**回避**できます。
- > **最小化** | 当社製品の製造中に排出される汚染物質を**最小化**する能力も、周辺地域への潜在的な影響を軽減します。
- > **復元または回復** | 力を合わせて、汚染物質の影響を受ける環境地域やコミュニティを**回復**または**復元**することができます。
- > **オフセット** | 最後のオプションとして、最初の3つの取り組みでは軽減できなかった影響を**オフセット**することを試みます。



廃棄物埋め立てゼロ

Essex Furukawa は最近、2022 年に向けた埋め立て廃棄物ゼロ (ZWTL) 評価を完了し、独立した第三者による検証を計画しています。内部評価の結果、北米の 4 工場、欧州 3 工場、アジア太平洋地域の 2 工場が ZWTL 指定に必要なレベルを達成したことが判明しました。当社の工場のうち 5 つは転換率 100% であることが判明しました。

北米では、2 つの新しい工場が昨年と比較して ZWTL 転換率を達成しました。

- トレオン (メキシコ)、シムコー (カナダ、オンタリオ州)、およびインディアナ州フォート ウェイン (米国) は 99% の転換率を達成し、後者の 2 つは初めて ZWTL ステータスを達成しました。
- インディアナ州フランクリン (米国) は 100% の転換率を維持しました。

インディアナ州コロンビア シティにある金属処理センター (MPC) とフォートウェインの化学処理センターは、どちらも転換率が 95% であることが判明しました。MPC は、リサイクル活動に関連する進行中のサプライチェーンの問題によって妨げられており、将来的には埋め立て廃棄物ゼロを達成するための行動方針を持っています。

さらに、米国テネシー州フランクリンのマグネット ワイヤ工場では、ZWTL 評価で転換率が 85% であることが判明しました。工場廃棄物の 11% が水廃棄物であり、その廃棄物の流れを削減または転換する取り組みが交渉中であることが注目されました。



セルビアとドイツにある欧州の工場はすべて、最新の評価サイクル中に埋め立て廃棄物ゼロのステータスを達成しました。

- > ズレニャニン (セルビア) は 2 年目も100%の転換率を維持しました。
- > バートアーロルゼン (ドイツ) も転換率 100% に向上しました。下流の廃棄物管理に問題があることを発見し、変更を実施し、ほぼ 2% ポイント向上しました。
- > ブラームシェ (ドイツ) も、埋立廃棄物ゼロの指定を 99% 維持しました。

アジア太平洋地域の工場のうち 2 か所が ZWTL ステータスを保持しています。

- > 三重 (日本) と蘇州 (中国) は両方とも埋め立て廃棄物ゼロの栄誉を達成しました。亀山市は 100% レベルを維持し、蘇州市は生鮮廃棄物の取り組みを通じて転用を増やし、99% から 100% に改善しました。
- > ペナンとクアラルンプールにあるマレーシアの工場はいずれも、ZWTL の達成に向けて取り組みを続けています。ペナンは 92% の転換率と評価され、クアラルンプールは 95% でした。

ZERO WASTE TO LANDFILL

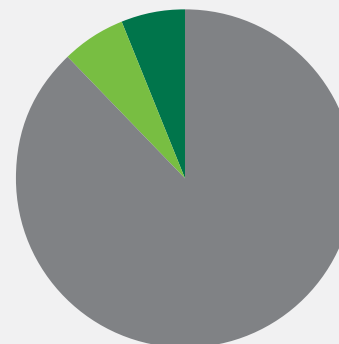




炭素削減目標

Essex Furukawa は、世界中のマグネット ワイヤ施設で温室効果ガス排出量を削減するための実行可能な計画を作成し、プロセスの実行を開始しました。最近のイニシアチブには、日本での電動フォークリフトの使用、世界中で効率の悪い照明を LED に置き換え、デルタ航空と提携して持続可能な航空燃料 (SAF) に投資することが含まれます。

また、当社は 2022 年を通じて再生可能エネルギーに多大な投資を行ってきました。中国の蘇州工場にある既存のソーラー パネルに加えて、マレーシアのペナン工場にも新しいソーラー パネルを導入し、さらに電力会社から 100% グリーン電力を購入して、ドイツのバートアーロールゼ工場とブラームシェ工場に電力を供給しました。中国と日本の工場も、総エネルギー需要の一部を賄うためにグリーン電力を購入しました。



炭素排出量

- スコープ 1 - 6%
- スコープ 2 - 6%
- スコープ 3 - 88%

スコープ 3 排出量

2021 年、当社はスコープ 3 の炭素排出量の年次調査を開始しました。2022 年には、当社の総炭素排出量の 76% がサプライヤーからのものであることがわかりました。

当社はアプローチを拡大し、現在サプライヤーから ESG データを収集して分析し、サプライヤーの構成製品やビジネス慣行が当社の環境への影響にどのように寄与しているかをより深く理解し、最終的に、特定された ESG 関連の問題を改善するために協力しています。

温室効果ガスの削減は、Essex Furukawa の将来だけでなく、地球の未来にとっても重要です。当社は現在、スコープ 1 + 2 の目標に加えて、スコープ 3 の炭素削減目標を検討しています。当社は、温室効果ガス プロトコル (GHG) で推奨される基準を使用して炭素削減目標を設定しており、この目標を Science Based Targets Initiative (SBTi) に提出して検証を行っています。これらの目標は、組織として温室効果ガス排出量を削減するための道筋を形作るのに役立つものです。当社が炭素削減目標に従業員や顧客に伝えることで、さらなるアクションがバリュー チェーンの上流でも下流でも引き起こされる、と考えます。



国連 SDGs パートナーシップ

Essex Furukawa は、自社の持続可能性への取り組みを国連の持続可能な開発目標の取り組みに沿って、国連 SDGs の17 の目標のうち 12 の目標にコミットしています。このパートナーシップにより、当社は、他のステークホルダーと共に共通の目的と行動の機会を特定すると同時に、すべての人々にとってより良い、より持続可能な未来を達成するために協力することができます。

1 Superior Essex として親会社レベルでコミット。

<p>目標 3</p>	<p>健康と福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境方針 食料庫と小さな図書館 日本での河川清掃活動 蘇州での植樹活動 従業員のワークライフバランスプログラム 	<p>目標 5</p>	<p>男女平等</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権方針 	<p>目標 6</p>	<p>きれいな水と下水処理</p> <ul style="list-style-type: none"> The Copper Mark 環境方針 トレオンでの雑排水の再利用 日本での河川清掃活動
<p>手頃な価格のクリーンエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー目標 	<p>目標 7</p>	<p>ディーセントワークと経済成長</p> <ul style="list-style-type: none"> The Copper Mark 破壊的イノベーション 人権方針 	<p>目標 8</p>	<p>産業、イノベーション、インフラストラクチャ</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー削減目標 再生可能エネルギー目標 破壊的イノベーション デルタ航空との SAF パートナーシップ 	<p>目標 9</p>
<p>目標 10</p>	<p>人や国の不平等をなくそう</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権方針 The Copper Mark 従業員のキャリア成長プログラム 	<p>目標 11</p>	<p>住み続けられるまちづくりを</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境方針 大気への排出許可 破壊的イノベーション トレオンでの雑排水の再利用 蘇州での植樹活動 	<p>目標 12</p>	<p>作る責任、使う責任</p> <ul style="list-style-type: none"> The Copper Mark ZWTL 説明責任と報告 持続可能な調達方針 トレオンでの雑排水の再利用
<p>気候行動</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー削減目標 再生可能エネルギー目標 炭素削減目標 蘇州での植樹活動 	<p>目標 13</p>	<p>平和と公正をすべての人に</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権方針 The Copper Mark 持続可能な調達方針 	<p>目標 16</p>	<p>パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 12 の目標との合致 (国連 SDGs の17 の目標のうち) 	<p>目標 17</p>



サプライチェーンの透明性

ビジョン2030により、Essex Furukawa は、サプライチェーンの下流でも上流でも環境および社会への影響を理解し、この知識を社内外に伝える責任を負っています。そのようにすることで、影響を軽減しながら、当社の顧客の影響削減目標の達成を支援することができます。

原材料のサプライチェーンオペレーティングシステムであるWaybridgeとのパートナーシップにより、重要な予測情報へのアクセスが向上し、サプライチェーンの問題が当社、そして最終的には下流の顧客に影響を与える前に俊敏に対処できるようになります。

進化する環境、社会、ガバナンス (ESG) 環境において、Essex Furukawa は、調達活動に関連する特定のデータを収集、集計、報告する必要があると感じています。当社は、最も重要なサプライヤーに当社のサプライチェーンに関連するこの情報を収集および検証してもらうよう第三者と契約しました。



責任ある調達

Essex Furukawa は、当社の製造工程（マグネット ワイヤ/巻線に使用される主要材料である銅の製造工程を含む）で使用される材料の責任ある調達に重点を置いています。サプライチェーンの継続的な調査を通じて、ESG 目標に向けて上流および下流のステークホルダーと協力しながら、誰と協力するかをより慎重に決定できるようになりました。当社は、生産材料の倫理的、持続可能性、社会的影響を考慮しながら、最終製品に関して認められた品質基準を維持します。

戦略的パートナーシップ

再生銅

- > 当社は現在、主要サプライヤーとの提携により、北米における外部銅供給量の 25% を認定リサイクル源から調達しています。
- > 当社は、北米工場の金属加工センターでマグネット ワイヤの製造から出るすべての余剰銅を社内でリサイクルしています。同様のリサイクルはグローバルに行われています。

低炭素銅

- > 現在、当社の欧州の顧客は、1 kg あたりの CO₂ 排出量が 1.5kg 未満の低炭素カソードを選択できます。これは、国際銅協会（ICA）が提示した世界平均の半分にも至りません。



戦略的パートナーシップ—続き

The Copper Mark

- > 当社の二酸化炭素排出量に最も大きな影響を与えるのは、サプライチェーンと銅抽出です。このデータに基づいて、当社は 2021 年に The Copper Mark と提携し、銅製品の持続可能で責任ある調達と生産がバリューチェーンにどのような影響を与えるかをより明確に定義しました。
- > 当社は、北米の 4 つの施設で進行中の Semis-Fabricator Pilot に参加することで、The Copper Mark とのパートナーシップを拡大しました。当社は現在、当社のマグネットワイヤ製品が倫理的かつ責任ある方法で製造されていることを証明する、この第三者による国際認証基準の達成に向けて取り組んでいます。
- > 現在、北米で当社が調達する銅の 83% が The Copper Mark によって認証されており、当社はグローバルに追加の供給源を積極的に探しています。当社は、Chain of Custody Pilot に参加しており、これには、下流のステークホルダーだけでなく、上流の認定されたステークホルダーの一部も含まれます。

Waybridge

- > サプライチェーンの効率と信頼性を向上させる取り組みとして、当社は物流を改善し、予測データを増加させ、在庫切れの解消を目標とした在庫切れの削減を支援するテクノロジーに投資してきました。
- > 当社のオペレーティングシステムは、工場への原材料出荷の進捗状況を追跡し、潜在的なサプライチェーンの問題が当社、そして最終的には下流の顧客に影響を与える前に、積極的に対処することができます。

採取産業透明性イニシアチブ

Essex Furukawa は、世界基準として採取産業透明性イニシアチブ (EITI) の原則と基準をサポートしています。Essex Furukawa は、情報開示の強化と改善を通じて、公共および企業のガバナンスを強化し、天然資源管理の理解を促進して、採取セクターにおける透明性と説明責任を高めるためのデータを提供するという使命において EITI を支援しています。





循環型経済

Essex Furukawa では循環型経済を、気候変動、廃棄物、汚染、生物多様性喪失など地球規模の課題に取り組むシステムと見なしています。ビジョン2030の柱に沿うことは、自ずと製品のライフサイクルを改善し、二酸化炭素削減の目標に貢献して、顧客の価値観に沿うこのシステムを構築すると考えます。

再生銅

当社は現在、北米における外部銅供給量の25%をリサイクル資源から調達しており、顧客のリサイクル需要を満たすために新たなパートナーシップをグローバルに構築しています。廃棄物を排除し、原材料の採掘によるエネルギー消費を削減するために、当社は北米工場の金属加工センターでマグネットワイヤの製造から出る余剰銅をリサイクルしており、世界中の拠点で同様のプロセスを導入しています。

廃棄物埋め立てゼロ

ビジョン2030の埋め立て廃棄物ゼロという世界的な目標の達成には、アップサイクリングも含まれます。当社の生産プロセスには副産物があり、これらは、それらの材料を再利用できる外部の市場や業界とのパートナーシップを通じてを通じて廃棄物埋め立てゼロ化を促進します。

梱包

当社では、お客様のニーズを満たすためにパッケージのデザインを定期的に評価しています。そのプロセスには、製品を安全に保つために必要なセキュリティと強度を犠牲にすることなく、再利用、改装、または配送方法の完全な見直しが含まれます。また、そのプロセスで持続可能性への取り組みを強化することもできます。



持続可能性 リーダーシッ プ委員会

Essex Furukawa 持続可能性リーダーシップ委員会 (SLC) は、ビジョン 2030 のイニシアチブをさらに前進させるために 2021 年に設立されました。SLC には、組織全体から選抜された主要ステークホルダーがおり、事業に関してバランスがとれていながらさまざまに異なった視点を提供しています。このグループは定期的に会合を開き、社内外のコミュニケーションからのインサイトを提供するほか、包括的な持続可能性への取り組みの将来に関する提案を行います。SLC の目標は、ビジョン 2030 が当社の意思決定に常に基準となることです。

SLC に加えて、他の主要分野 (破壊的なイノベーション、アジャイルデジタル化、および責任ある調達) に焦点を当てるために 3 つの小委員会が開設されました。

破壊的イノベーション小委員会

世界中の研究開発リーダーが主導するこの小委員会は、環境への影響が少ない材料と生産方法の両方を革新する破壊的イノベーションの目標を支援するために、MagForceX® イノベーション センター チームによって開発されている主要な取り組みについて報告します。

このグループは、グローバル オペレーションおよびグローバル R&D 担当の SVP が主導しています。このメンバーには、グローバル R&D 担当副社長、北米イノベーション センター副社長、並びに日本イノベーション センター長も含まれます。

アジャイル デジタル化小委員会

Essex Furukawa は、テクノロジーの能力を認識しているデジタルに精通した組織です。当社のグローバル拠点全体で効率性とベスト プラクティスを導入しています。

この小委員会は、情報システム担当副社長とビジネス システム担当マネージャーが主導し、IT チームと OT チームの進捗状況を報告します。両チームは、システムが完全に統合され、持続的に自動化され、社会的責任を果たすために取り組んでいます。

責任ある調達小委員会

環境への影響を削減する一環として、この小委員会は、ビジョン 2030 の目標を達成する上でサプライ チェーンが果たす役割をより深く理解することを目指しています。環境や地域社会への影響を考慮した責任ある方法で購買決定が行われるようにするとともに、品質とコストの管理を徹底することで、その影響を軽減することを目指しています。

戦略的調達担当グローバル副社長が主導するこの小委員会には、Corporate Commodity Manager もメンバーに含まれています。委員会は、サプライ チェーンのマッピングを報告し、実践と業績に関する情報を提供するほか、潜在的なリスク、改善の機会、データのギャップについて調査します。

さらに未来 へ向けて

Essex Furukawa は、ビジョン 2030 の発表以来の歩みに誇りをもっており、その進歩が将来にわたって続くことを嬉しく思っています。この年次持続可能性報告書は、当社の総合的な持続可能性への取り組みにおける基本的な指標となります。絶え間なく変化する状況では、環境、社会、企業のガバナンスへの取り組みには、透明性、ベンチマーク、そして機敏であり続けることが求められます。

来年にかけて、ビジョン 2030 は、顧客の優先事項だけでなく、当社の期待にも応えるように設計された追加プロジェクトを含めるように進化していきます。次のような計画があります。

- 2023 年にすべての工場ですべての埋め立て廃棄物ゼロのステータスを達成することが第三者監査によって検証される
- 選択した製品のライフ サイクル評価 (LCA) を最終決定する
- 2024 年に The Copper Mark 認証を取得する
- 再生可能エネルギーへの継続的な投資
- 水使用量削減目標と行動計画を策定する
- スコープ 3 の炭素削減目標を策定する

付録

リソース

ビジョン 2030 および以下を含む当社の総合的な持続可能性プログラムを支援するいくつかのイニシアチブは 2022 年 5 月から実施されています。

- > [Superior Essex - Essex Furukawa がアジャイル デジタル化テクノロジーで Waybridge と提携](#)
- > [Essex Furukawa が The Copper Mark 保証プロセスへの取り組みを確認](#)
- > [化学処理工場は現在進行中のサプライチェーンの問題に対応中](#)
- > [Essex Furukawa 消防隊がトレオン チャレンジで燃える](#)
- > [Superior Essex がデルタ航空との持続可能な航空燃料パートナーシップを発表](#)
- > [Essex Furukawa がドイツ工場 で TISAX 認証を取得](#)
- > [Superior Essex の従業員が近隣地域での活動を拡大](#)
- > [Essex Furukawa がトレオン工場 で皆勤賞を表彰](#)
- > [Essex Furukawa が The Copper Mark 保証プロセスで次のステップへ](#)
- > [Essex Furukawa がアース デイの持続可能な未来を「ライトアップ」](#)
- > [Essex Furukawa 三重工場 で電動フォークリフトの導入準備完了](#)

当社の [Web サイト](#) にアクセスして、最新の持続可能性に関するニュースを確認し、これまでのすべての進歩を追跡してください。

当社の四半期刊 [ニュースレター](#) へサインアップしてください。

> 保証プロセス

- Keramida, Inc.
- ARCHE アドバイザー

> 環境認証

- ISO 14001-2015
 - ブラームシェ (ドイツ) マグネット ワイヤ工場
 - バートアーロルゼン (ドイツ) マグネット ワイヤ工場
 - ズレニャニン (セルビア) マグネット ワイヤ工場
 - クアラルンプール (マレーシア) マグネット ワイヤ工場
 - ペナン (マレーシア) マグネット ワイヤ工場
 - 蘇州 (中国) マグネット ワイヤ工場
 - トレオン (メキシコ) マグネット ワイヤ工場
 - インディアナ州コロンビアシティ (米国) 金属加工センター
 - インディアナ州フランクリン (米国) マグネット ワイヤ工場 (検証待ち、2023 年予定)
- ISO 50001-2018/2011
 - ブラームシェ (ドイツ) マグネット ワイヤ工場
 - バートアーロルゼン (ドイツ) マグネット ワイヤ工場
- ISO 45001-2018
 - 蘇州 (中国) マグネット ワイヤ工場
 - ペナン (マレーシア) マグネット ワイヤ工場

クリックして外部リソースへ移動



付録—続き

パフォーマンス データ表¹

> 温室効果ガス排出量 (GHG)² | MT CO₂e

	2021	2022
スコープ 1	94,965	86,769
スコープ 2	136,742	92,320
スコープ 3 ³	3,874,458	1,300,682
合計 (スコープ 1 と スコープ 2)	231,707	179,089

> エネルギー消費量 | MWh/MT

	2019	2020	2021	2022
非再生可能燃料購入量 と消費量	1.383	1.490	1.332	1.330
非再生可能電力購入量	0.777	0.883	0.814	0.612
非再生可能エネルギー 総消費量	2.160	2.373	2.146	1.942
再生可能エネルギー総購 入量または総生成量	0.004	0.004	0.003	0.216
エネルギー総消費量	2.163	2.377	2.149	2.158

¹ 値に含まれるのは当社のマグネット ワイヤ製造拠点のみでの大気への排出量、水使用量、エネルギー消費量

² 温室効果ガスプロトコルの市場ベースのアプローチに従ったもの

³ 推定スクリーニング値

> 廃棄物転換

	2022
世界全体での廃棄物転換率	96.5%

> 大気への排出量 | MT

	2019	2020	2021	2022
有機化合物	134	160	189	204

> 水使用量/使用状況 | m³

	2019	2020	2021	2022
総取水量	588,055	551,677	539,155	600,052
総排水量	420,110	402,936	369,808	414,125

> 環境事象

	2019	2020	2021	2022
報告対象となる危険ま たは有毒な化学物質 の流出または放出	0	0	0	0
重要な環境事象の数	0	0	0	0

付録一 続き

> 安全衛生実績

	2019	2020	2021	2022
業務上災害死亡者総数	0	0	0	0
従業員の記録災害度数率 ⁴	12.1	10.8	11.0	17.9

> 従業員デモグラフィクス⁵

	2019	2020	2021	2022
従業員数	1,711	2,062	2,112	2,119
30 歳未満	-	-	18%	15%
30 ~ 50 歳	-	-	52%	49%
50 歳超	-	-	31%	36%
女性従業員総数	-	-	13%	18%
指導的地位にある女性の総数 ⁶	-	-	25%	21%

⁴ 国際的な災害度数率

⁵ 高齢者と女性の雇用状況 (2019 年と 2020 年は追跡せず)

⁶ マネージャー以上

⁷ 環境コンプライアンスのコストと料金

⁸ 100 点満点中のスコア

> 人権

	2019	2020	2021	2022
大規模人権侵害件数	0	0	0	0

> 財務 | 米ドル

	2022
政府への支払いの開示 ⁷	\$340,286

> サプライヤー ESG メトリック

	2022
要求されたサプライヤーの総数	40
総支出に占める割合	80%
回答率	29%

> サプライヤー実績スコア⁸

	2022
環境	42
社会	74
ガバナンス	66
全体	60



08-2023
©2023 Essex Furukawa Magnet Wire LLC All Rights Reserved

essexfurukawa.com